

<b>第 7 回</b>	<b>介護・医療連携推進会議 議事録</b>
--------------	------------------------

開催日時	平成29年10月17日(火)	16:00～17:00
開催場所	加野クリニック 1階	

書記 豊資会定期巡回訪問介護ステーション 管理者 藤谷

出席者	古賀市 介護支援課 介護保険係 地域住民 地域住民 利用者家族 訪問看護ステーションE 社会福祉法人豊資会 医療法人豊資会 豊資会 地域連携室 訪問看護ステーションD 豊資会定期巡回訪問介護ステーション	担当者様 A様 B様 C様 管理者様 理事長 理事長 相談員 看護師 管理者
-----	--	---

#### 1、開会の挨拶

定期巡回はいい制度だと思うのだが、なかなか認知度が上がらない、こちらの努力不足もあるが、全国的にも延びていない。歩みは遅いがいい制度なのでぜひとも成功させたい。この場で定期巡回のヒントになるもの、をいただけたらと思っている。

#### 2、活動状況報告

- ①7～9月、利用者総数、男女別・年齢別・要介護度別・世帯別の利用者分類
- ②新規利用者、人数・介護度・世帯状況・依頼理由
- ③訪問回数、随時訪問回数と内容、コール回数、内訳
- ④時間帯別訪問回数
- ⑤具体的な支援状況

- 8月、看取りの方が亡くなる前10日間ほど、コールが続いた。
- 住宅型有料老人ホームの入居者が、介助量が増えたことで訪問介護から定期巡回に切り替えられた。

#### 4、意見交換

- 定期巡回の利用を考えていても、他のサービスの利用状況によって利用限度額がオーバーすることで利用を断念された事例があった。
- 地域の病院の退院支援部門への連携の方法として、本会議の活動状況報告に加え具体的な利用事例を作成し、古賀市内の病院の地域連携室に持参した。
- 地域の病院との連携は、古賀市だけでなく近隣の急性期の連携室にも案内してはどうか→古賀市住民が利用しそうな他市の病院まで案内先を広げるようにする。
- 看護職員によるアセスメントの書式を事業所として作成していなかったもので、現在いただいているアセスメント表を元に作成した。  
看護職員からの指示があるおかげで、安心してケアが出来ている。

- 定期巡回の空き状況について、前回質問があったが、定期巡回は古賀市で当事業所しか行っていないので、依頼があれば全て受けるようにしている。職員の募集も随時行っている。
- 定期巡回の仕組みは分かりにくいですが、事例を積み上げて支援のあり方を確立していきたい。
- 開設前に地域が施設の機能を持つイメージで説明を受けたが、その説明が一番分かりやすいと感じた。
- サービスの提供量については、全体のバランスを見ながらある程度融通を利かせつつ、要介護認定等基準時間を参考に介護度別の支援時間を決めている。
- 支援時間について、短時間の訪問で例えば、排泄介助で思いがけず便汚染などがあった場合、大幅に時間がオーバーするといったことはないのか。  
→職員にもよるが、排泄や更衣等の介助のスキルが高く、大幅に時間が狂うことはあまりない。

#### 5、次回開催日程

平成30年1月16日(火) 16時～

#### 6、閉会の挨拶

定期巡回の定額制は家族にとっては、重度になっても先が見通せる安心感があると思う。30年の介護保険法の改正で、国の後押しをもらえればと思っている。